

SanDisk®から TrustedSignins™が新登場

購入も使用も簡単

長年の間、電話やオンラインによる銀行口座や証券口座などの個人口座へのアクセスには、アカウント名と変更されない（または、まれに変更される）パスワードが使用されてきました。しかし、アカウント名は必ずしも個人のものであるとは限らず、パスワードは盗まれたり、推測されたり、共有されることさえあります。実際、覚えなければならないアカウント名やパスワードがあまりにも多いため、紙に書き留められることも多いのです。

こうした状況は、これまで許容リスクと考えられていました。しかし今では、各国政府の多くが、金融取引に対してワンタイムパスワードを生成するトークンの使用を義務付け、企業やゲームサイトもそれらの使用を奨励しています。残念なことに、サイトやアカウントの1つ1つに、アクセス許可のためのトークンがそれぞれ必要となるため、顧客や従業員はすぐにわずらわしさを感じるようになるでしょう。これは、満足度の低下につながります。TrustedSigninsは、何百もの機関の認証に使用できる複数の仮想トークンをサポートします。

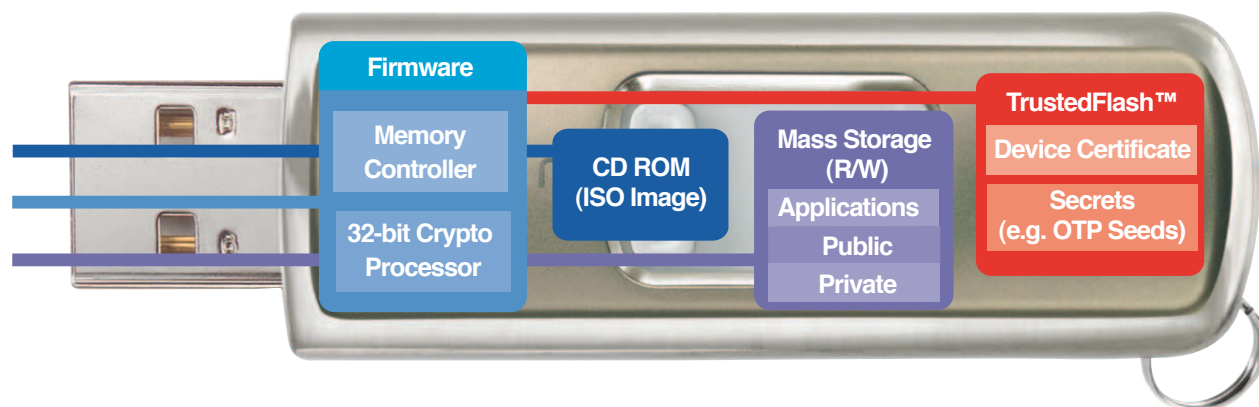
トップ企業との提携

フラッシュメモリ・データ記憶カードの世界最大手サプライヤ、サンディスクは、セキュリティ業界最大手のRSAセキュリティおよびペリサインとの提携により、TrustedSigninsを開発しました。この革新的なソリューションは、サンディスクのUSBフラッシュメモリ・デバイス（UFD）上で機能します。携帯電話や携帯ゲーム機などのモバイル機器の場合は、TrustedFlash™メモリ・カード上で機能します。

専用トークンと比較すると、TrustedSigninsの場合、トークンをストックして顧客に供給する費用を会社が負担しなくてよいのが利点です。18万5000カ所あるサンディスク取扱店で従業員や顧客がUSBデバイスを購入されると、会社の顧客アカウントに登録されます。



TrustedFlash技術



TrustedSignins は、サンディスクの TrustedFlash 技術に基づいています。TrustedFlash 対応デバイスにはすべて、読み取り可能な固有の電子シリアルナンバー、デバイス証明書、および予測不可能なランダム暗号キーが割り当てられています。カスタムコントローラがメモリをパーティション化し、ホスト PC からのアクセスを管理します。32ビットの暗号コプロセッサが、デバイスに書き込まれる、およびデバイスから読み取られるすべてのデータを自動的に暗号化して解読し、コンポーネントが直接狙われた場合でも、情報の漏洩を防ぎます。

また、ホスト OS から TrustedFlash メモリに直接アクセスすることはできません。デバイスの API は、PKI などの強力な認証機能をサポートしており、許可されたホストプロセスが TrustedFlash のパーティションの中に独自情報の構築や、それらの情報へのアクセスを可能にすると同時に、他のプロセスは許可されたものでさえもアクセスを遮断します。たとえば、ワンタイムパスワードを生成するために使用されるシークレットの書き込みや消去はできますが、デバイスからの読み取りはできません。同様に、デバイス証明書は、認証、照合、および署名に使用できますが、修正はできません。デバイス証明書は、PKCS#7 パッケージの中でカプセル化することができ、PKI アプリケーションをサポートします。

サンディスクの USB フラッシュドライブは、ホスト PC のための 3 つのディスクボリューム、読み取り専用の CD-ROM イメージ、パブリック・ボリューム、パスワードで保護されたプライベート・ボリューム(*)を提供します。

TrustedFlash 技術や TrustedSignins についての詳しい情報につきましては、mnakanishi@sandisk.com まで、電子メールにてお問い合わせください。

機能と利点

- TrustedFlash™ を基盤とした安全なストレージ技術
- 1 つのデバイスが複数の仮想トークンと複数のアルゴリズムをサポート
- OATH (オープン認証) 準拠
- パスワードで保護された、最大 4.0 ギガバイトのフラッシュメモリ・ストレージ

* TrustedSignins およびプライベートディスクボリュームには、Windows 2000 サービスパック 4 以上、Windows XP (すべてのエディションおよびサービスパック)、Windows Server 2003 が必要になります。

